

平成26年10月31日
公益社団法人 日本技術士会

平成24年度技術士第一次試験における正答ミスについて

平成24年10月8日に実施した平成24年度技術士第一次試験の専門科目（応用理学部門）の5肢択一式試験問題について、本年10月9日外部の方から指摘があり、調査した結果、正答にミスがあることが判明いたしました。

正答のミスがあったのは、出題した35問題のうち、問題Ⅳ-25（別紙）で正答を選択肢②とすべきところを④と発表いたしました。

ミスの原因は、作問時における正答番号の入力ミス、及びその後の複数の審査過程において当該ミスを発見できなかったためです。

これを受け改めて得点の見直しを行った結果、合格基準を満たした者を1名追加すべきことが判明いたしましたので、この方には合格証書が授与されることとなりました。

受験者の皆様をはじめ、関係の皆様にも多大なご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

今後このようなことが再び起こらないよう、万全の措置を講ずることといたします。

平成24年度技術士第一次試験問題〔専門科目〕(抜粋)

【応用理学部門】

IV 次の35問題のうち25問題を選択して解答せよ。(解答欄に1つだけマークすること。)

IV-25 プレート境界及びそれに関連する鉱床の記述として、最も適切なものはどれか。

- ① 島弧—海溝系は発散境界の沈み込み帯に分布する。
- ② 黒鉱鉱床はマリアナ型の沈み込み帯に分布する。
- ③ 中央海嶺は収束境界であり、新たなプレートが生産される。
- ④ 斑岩銅鉱床はマリアナ型の沈み込み帯に伴う。
- ⑤ 砂岩型ウラン鉱床は収束境界に分布する。

(正しい記述は、選択肢②のみである。)

以上